

KISC

5

2021
May

Kagoshima Industry Support Center



株式会社

WISHシステムコンサルティング

代表取締役 桑村 英利さん

今号の表紙



ニアショア開発推進機構の『ニアショアAWARD2020』最優秀賞を受賞

株式会社 WISH システムコンサルティング

代表取締役 桑村 英利

<企業概要>

所在地 鹿児島市東千石町14-10-7F
 設立 2005年4月
 従業員数 81名
 事業内容 ・システムコンサルティング
 ・システム設計、開発、保守、販売、教育
 ・その他サービス
 TEL 099-219-7623
 FAX 099-219-7632
 URL <https://wish-sc.co.jp/>

今号の表紙は、鹿児島市で、県内自治体や金融機関向けを中心に業務系システムの設計・開発を手掛けている株式会社WISHシステムコンサルティングの代表取締役 桑村英利さんです。

同社は、東京のシステム開発会社に勤務していた桑村社長が、2005年個人で開業、1年後にはソフトプラザかごしまに入居、2014年には事業拡大に伴い増加する業務量に対応するため、鹿児島市と立地協定を締結し現在地へ事務所移転しました。

創業以来システム開発事業を主軸に、システムコンサルティングからシステム設計、開発、運用・保守サポートの事業を展開しています。

自治体、金融機関、一般企業等で使用される業務系システムの構築を得意とし、プログラミングやシステム開発だけでなく、ITコーディネータなどの業務知識を持っているメンバーを揃えており、上流の要件定義や基本設計から参画できることが強みとなっています。

近年は、勤怠管理システム「勤T A 労」などのパッケージ、RPA、AI-OCR、RFID等を使用したシステムの開発にも力を入れています。



勤怠管理システム「勤T A 労」

い、また、帰属意識が薄くなる社員も多い。これだとよくないので、仕事に対するモチベーションを高く、業績アップにつながるような施策はないか検討したところ、もっと最先端の技術を使用したシステム開発ができるニアショア開発に注目し、自社内で開発の作業を増やしていこうと考え、都市圏から仕事を持ってこる感じでここ数年は動いています。」と桑村社長。

この取り組みにより、日本の地方都市でのシステム開発（ニアショア開発）を推進する事を目的として設立された一般社団法人ニアショア開発推進機構から、2017年に一定の基準を満たす企業として首都圏企業からの発注を振り分けられる『認定ニアショアベンダー』に認定されました。

また、昨年は、新型コロナウイルス禍でも積極的な採用活動を展開し、当センターの鹿児島県プロフェッショナル人材戦略拠点を活用して採用した人材11名を含む30名の採用を実現しました。

このように、30名の人材採用と首都圏からの受注拡大に貢献したことが評価され、優れた地方企業を表彰する『ニアショアAWARD2020』の最優秀賞を昨年12月、県内企業で初めて受賞しました。

◇今後の取組

「まず、従業員の100名体制を目指します。雇用を維持するために、持ち帰りの案件を増やしてパッケージの企画・開発や、クラウドサービス事業への参入など、当社から開発力を発信していきたいと思っています。

『お客様に満足していただく高度で専門的な技術を提供し、社会の発展に貢献するとともに、人生の目的を明確にもち、やりがいと感動の人生を歩む企業であり続ける。』を社是に掲げ、今後加速するデジタル社会において、これまで培ってきた高い技術力と業務知識をベースに、AI、IoT、ビッグデータといった最新の技術を駆使しながら、お客様のご要望に合ったシステムを提供して参ります。」と、桑村社長は語っておられます。

◇首都圏からのニアショア案件の拡大を図る

「お客様先でシステム開発を行っている社員が多く、社員同士が会社に戻ってきてコミュニケーションが取れない、バラバラなので社員が誰だかわからな

CONTENTS

- 2 今号の表紙
- 3 私の思い
- 4 特集 かごしま産業支援センター 令和3年度主要事業の紹介
- 10 特集 令和2年度 食品関連産業「カイゼン」活動取組優秀社紹介
- 12 会員企業PRコーナー
- 14 経営相談所よるず支援拠点
- 15 かごしま産業支援センター組織・機構
- 16 広告



セキュリートルーム（プロジェクトルーム）を3部屋設置し、機密情報が極めて重要なプロジェクトのシステム開発も可能になりました。

私の 思い



鹿児島県商工労働水産部長

平林 孝之

平成10年3月 中央大学経済学部卒業後、通商産業省入省
 (独)日本貿易振興機構ベルリン事務所次長、経済産業省地球環境対策室長、大臣官房グローバル産業室企画官、特殊関税等調査室長を歴任。
 令和3年4月より現職

「地域の中小企業等の『稼ぐ力』の向上」

県内中小企業等の皆様には、県政の推進につきまして、かねてから格別の御理解、御協力を賜りますとともに、本県の商工業の振興に貢献していただいておりますことに対し、心から感謝申し上げます。

現在、我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にある中、持ち直しの動きが続いているものの、一部に弱さが見られるところがございます。

また、県内経済は、全体としては、このところ足踏み状態となっております。

県といたしましては、新型コロナウイルス感染症の本県経済に与える影響を踏まえ、まずは、経済立て直しに向けて、割引クーポン発行による需要喚起策や県内企業の販路拡大等の支援など、強力な産業支援を実施してまいります。

そして、感染症の収束後を見据えつつ、今後の県政発展の基盤をしっかりと作っていくためにも、スタートアップによる新たな産業の創出や若者が働く場としての新たな産業の育成のほか、地域経済を牽引する中核企業に対する研究開発や生産性向上対策の支援など、地域の中小企業等の一層の「稼ぐ力」を引き出すための取組を進めてまいります。

【令和3年度の主な取組】

県内中小企業等においては、従業員1人当たりの付加価値額や、開業率が全国平均より低いことなどの課題があることを踏まえ、県では、新産業の創出・起業の支援などに取り組むこととしております。

(1) 企業の「稼ぐ力」育成・支援プロジェクト (新産業創出ネットワーク事業)

県内の企業が継続して成長していくためには、従来のビジネスモデルを変革し、時代の変化に対応した新規事業を展開することや、地域の課題解決による新たな産業の創出が求められています。

そのため、新産業創出に取り組む県内企業の掘り起こしから事業化、販路拡大までの、各段階に応じた研究開発支援や伴走支援などの集中的かつ継続的な支援を行い、地域資源等を活用した新産業創出を図ってまいります。

(2) 起業支援プロジェクト事業

起業に向けた機運の醸成を図るとともに、起業しやすい環境を整備し、起業を通じた地域経済の活性化を図るため、起業準備者を包括的かつ継続的に支援する取組を進めてまいります。

具体的には、起業準備に取り組む方々等を対象に、ビジネスプラン策定の支援、ビジネスプランコンテストへの参加の働きかけ、事業化に当たって必要となる設備やPRに係る経費の補助などを通じて、一貫した伴走支援を行うこととしてまいります。

県といたしましては、本県中小企業支援の拠点である公益財団法人かごしま産業支援センターと密接に連携しながら、中小企業の皆様の様々な事業展開への支援を通じて、皆様の御発展はもとより、本県経済の発展や雇用創出につなげていきたいと考えております。今後とも、同センターや各種事業の積極的な御活用をお願い申し上げます。

終わりに、皆様方の御発展・御活躍を心よりお祈りいたします。



かごしま産業支援センター 令和3年度主要事業の紹介

当センターでは、令和3年3月に理事会、評議員会を開催し、令和3年度の事業計画を決定しました。概要は次のとおりです。

1 新事業創出等支援 202,127千円

コーディネーターによる総合的・先進的経営アドバイス、経営・技術専門家の派遣、創業者に対する助成、企業の新たなチャレンジを担える人材とのマッチングをサポートするなど、新事業の創出と新産業の育成を支援します。

・よろず支援拠点事業

中小企業等の売上拡大や経営改善等の様々な経営相談に応じるコーディネーターを設置し、課題解決に最適な手法を選択して支援

<支援内容>

- 1 専門性の高い経営支援
売上拡大や経営改善などの経営課題の解決に向け、専門性の高い提案とフォローアップを実施
- 2 地域の総合的な経営支援
他の支援機関との連携を強化し、適切な支援機関の紹介、相互連携の調整等を実施
- 3 政策的な重要分野への対応と地域の支援機関の補完
ITを活用した生産性向上に向けた取組、事業承継、人手不足問題並びに他の支援機関による支援の実態やニーズを踏まえ、補完すべき分野について重点的に支援を実施



《相談風景》

2年度実績	相談者数：5,635社・者、相談対応件数：9,419件
-------	-----------------------------

・専門家派遣事業

中小企業等の様々な経営課題に対応して、専門家を派遣し診断助言を実施
(1企業当たり年間8回程度)

2年度実績	9社(延べ40回派遣)
-------	-------------

・プロフェッショナル人材戦略拠点事業

潜在的成長力の高い中堅・中小企業を中心に、新製品開発、新規販路開拓をはじめとした新たなチャレンジを積極的に促し、その実現を担うことのできる人材と企業とのマッチングをサポート

<支援内容>

- 1 「攻めの経営」への転換促進(意識喚起)
- 2 プロ(専門)人材雇用の決断促進(人材ニーズの具体化)
- 3 プロ(専門)人材とのマッチング支援(人材ニーズの取次)
- 4 フォローアップ

2年度実績	相談件数：176件、取次件数：146件、成約件数：77件
-------	------------------------------

主な実績



《鹿児島県プロフェッショナル人材求人相談会(右はWeb相談)》



《企業成長セミナー》

◇新規事業◇

・新産業創出ネットワーク事業

新事業の研究開発や新事業の実施に対する補助金支援、事業計画策定から新事業実施まで一貫した伴走支援、新事業進出に関連するセミナー等を実施し、地域資源等を活用した県内中小企業の新産業の創出を支援

支援内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 研究開発支援 新事業進出のために実施する新技術や新製品の研究開発を行う鹿児島県内の中小企業者に対し、研究経費の一部を補助 2 新事業進出支援 独自の技術を用いた新製品の開発や、地域資源を活用した地域課題の解決に資する製品開発のための人材育成、研究開発、販路開拓等に要する経費の一部を補助 3 伴走支援 専門のコンサルタントによる事業計画のP D C Aや課題解決の手法、資金調達の相談等の伴走型の支援 4 セミナー等の開催 新規事業の立ち上げに必要なスキルやマインドを持った人材育成を図るための勉強会や、最新のビジネスモデルや技術等を学ぶことができるセミナーの開催 <ol style="list-style-type: none"> ①新事業創出キックオフセミナー（1回） ②ビジネスセミナー（3回程度） ③中堅社員向け勉強会（5回程度） ④アイデアソン・ハッカソン（1回）
------	--

◇新規事業◇

・起業支援伴走プログラム事業

起業希望者等が、アイデアの実践に向けてビジネスプランを実現するため、ビジネスの立ち上げに必要な基礎知識等を学ぶプログラムから、起業に至るまでのメンタリング支援等の実践的なプログラムまで継続的に支援

支援内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 入門セミナー：年間2回程度（1回あたり20人程度） 2 基礎プログラム：年間2回程度（1回あたり20人程度） 3 ブラッシュアップセミナー：年間1回程度、個別メンタリングあり 【ビジネスプランコンテストの1次審査通過者を対象とする。】 4 実践プログラム：年間1回程度（1回あたり10人程度）、 個別メンタリング（1人3回程度） 【ビジネスプランコンテストの最終審査への参加者を対象とする。】 <p>※ 以上全て参加費無料</p>
その他	（上記4関連）ビジネスプランコンテストの最終審査への参加者は、起業支援助成事業への申込が可能

◇新規事業◇

・起業支援助成事業

ビジネスプランコンテストの最終審査会参加者を対象に、そのビジネスプランの事業化を推進するために必要となる費用の一部を助成

支援内容	起業及び新事業展開のための準備に必要な経費、新たな商品・サービスの市場調査等のために必要な経費、商品・技術の開発のために必要な経費、商品・サービスの特性を情報発信し広報するために必要な経費、商品・サービスの販路開拓及び販売促進のために必要な経費
助成率等	2/3以内（限度額 1,500千円） 助成期間 単年度

◇新規事業◇

●経営革新等伴走型支援事業

代わりを契機として、経営革新による企業の飛躍を図るため、専門人材を活用し、伴走型により、事業の磨き上げを支援。また、これを通じて、未来を担う次世代経営者（後継者）の育成を推進

2 戦略的産業振興支援 60,951千円

新たな産業の創出のため、新技術・新製品の研究開発や食品関連企業の効率的で質の高い生産体制の整備などを支援します。

●食品関連産業「カイゼン」活動強化支援事業

食品関連企業に対して、カイゼン活動による効率的な生産現場作りを、より一層推し進めることで、食品関連産業全体の資金・人材面等の経営資源への効果等を高め、さらなる新商品開発や販路開拓への取組などによる経営革新や経営基盤の強化を支援

- 1 企業訪問による生産管理・カイゼンの助言
- 2 社内ゼミの開催支援

2年度実績	企業訪問：240回、食の「カイゼン」ゼミ：51回 ゼミ成果発表会（事例報告）のオンライン配信：1回
-------	--

●戦略的基盤技術高度化支援事業

中小企業・小規模事業者が大学・公設試験研究機関等と連携して行う、製品化につながる可能性の高い研究開発や試作品開発、その成果の販路開拓に係る取組等を一貫して支援する国の公募事業において、事業管理機関として、中小企業・小規模事業者による情報処理、精密加工等のものづくり基盤技術の向上を図る。

2年度実績	2件
-------	----

3 地域資源活用支援 1,000千円

地域資源の活用や農林漁業者と商工会の連携による新商品等の試作品開発・販路開拓等への助成により、新事業の創出等を支援します。

●魅力ある食品開発支援事業

本県の地域資源である良質で豊富な農林水産物を活用し、機能的表示食品やハラル認証食品等に向けた付加価値の高い食品の研究開発や食品開発を支援

支援内容	原材料費、機械装置費、工具器具費、外注加工費、研究費、旅費
助成率等	2/3以内（限度額 100万円） 助成期間 単年度
2年度実績	1件

主な実績



《株YSフーズ：開発したロングライフ惣菜の一例》

4 研究開発・技術支援 13,218千円

AI・IoTの活用や新技術・新製品開発及び外国出願等への助成、産学官の連携や大学等技術シーズとのマッチングなどにより、研究開発や新たな技術向上を支援します。

・先端技術研究開発支援事業

自社のアイデアや技術を活用し、①オンリーワンといえる革新的な新技術・新製品の研究開発、②AI・IoTやロボット等先端的な技術を活用したシステム開発等を支援

支援内容	原材料費、機械装置費、工具器具費、外注加工費、研究費、旅費
助成率等	2/3以内（限度額 200万円） 助成期間 単年度
2年度実績	2件

主な実績



《株式会社おすみテクノ：中山間地域でのドローンの活用（農業散布）風景》

・シーズ・ニーズ・マッチング促進事業

大学や公設試験研究機関などの研究シーズと、新技術や新製品の開発に取り組んでいる鹿児島県内の中小企業等のニーズを発掘、収集、提供することにより、双方のマッチングを促進

2年度実績	シーズニーズ調査46件、窓口対応142件、マッチング16件
-------	-------------------------------

・中小企業等外国出願支援事業

外国の特許出願等（特許・意匠・商標・実用新案、冒認対策商標）に要する経費の一部を助成

支援内容	特許等の出願手数料、代理人費用、翻訳費用等
助成率等	1/2以内（限度額 1企業につき300万円、1出願につき30～150万円） 助成期間 単年度
2年度実績	9件（特許4件、商標5件）

5 マーケティング等支援 28,088千円

新製品等の国内外への販路開拓、商談会の開催、県外展示会への出展支援、市場ニーズ調査結果の事業化等の支援を行うとともに、専門調査員の巡回、企業の登録・取引紹介あっせんなどにより、マーケティング等を支援します。

・ベンチャープラザ鹿児島「二水会」開催事業

ベンチャー企業に新製品・新技術等の発表の場を提供し、販路拡大等の取組を支援

2年度実績	2回開催（県内企業6社発表）
-------	----------------



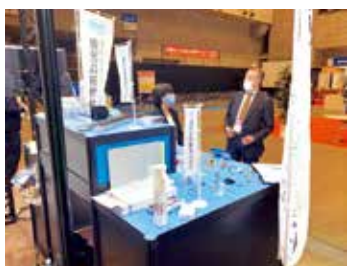
《ベンチャープラザ鹿児島「二水会」》

・新製品等販路拡大支援事業

県内中小企業者等が自ら開発した新商品・新製品の販路を拡大するため、国内で開催される商談会・展示会に参加し、または県外の取引先や商社等を県内に招へいし、商談会等を行う場合、その経費の一部を助成

支援内容	1 国内で開催される商談会・展示会への出展に要する経費 2 県外の取引先や商社等を県内に招へいして行う商談会や工場見学に要する経費
助成率等	1 国内商談会出展助成 2/3以内 (限度額 500千円)、助成期間 単年度 2 県外企業招へい商談会助成 2/3以内 (限度額 300千円)、助成期間 単年度
2年度実績	10件 (国内商談会出展助成 7件、県外企業招へい商談助成 3件)

主な実績



《国内商談会出展》



《県外企業招へい商談》

・製造業海外取引支援事業

海外への取引拡大を図ろうとする県内製造業者を対象に、取引可能性調査（現地視察）等を実施し、新たな海外企業との取引を支援

2年度実績	新型コロナウイルス対策のため実施できなかった。(参考) 令和元年度：フィリピン
-------	---

・取引あっせん強化推進事業

県外における新たな発注企業等の掘り起こしを積極的に行い、県内受注企業との商談会等を開催するほか、メーリングリスト等による効率的な取引情報の受発信により新規販路開拓を支援

「かごしま取引商談会」、「ミニ商談会」の開催

2年度実績	かごしま取引商談会 (3月16日開催) 参加企業 (発注：9社、受注：40社) 取引成立：3件
-------	--



・モノづくり取引開拓出展支援事業

大都市圏で開催される展示会において当センターがブースを確保し、出展を希望する県内中小企業に展示スペースを提供して、新規販路開拓を支援

- [令和3年度予定] 「第24回関西機械要素技術展」 (10月6日-8日/大阪)
- 「モノづくりフェア2021」 (10月13日-15日/福岡)
- 「第26回機械要素技術展」 (3月16日-18日/東京)

2年度実績	「第5回名古屋機械要素技術展」 (9月9日-11日/愛知) 県内企業10社/1小間 ※展示のみ 「第25回機械要素技術展」 (2月3日-5日/東京) 県内企業8社/4小間
-------	--

主な実績



《第5回 名古屋機械要素技術展》



《第25回 機械要素技術展(東京)》

・モノづくり情報収集提供事業

受発注情報の収集提供や九州7県合同広域商談会の開催等により、県内中小企業の販路の拡大を支援

2年度実績	受発注企業訪問：288社、取引あっせん：202件、取引成立：66件 九州7県合同広域商談会（11月24日－12月28日） ※WEB商談及び個別紹介で実施
-------	---

主な実績



《令和2年度九州7県合同広域商談会 WEB商談》

・下請かけこみ寺事業

中小企業の取引上の悩み相談の受付や移動弁護士相談会（県内4か所）等を実施

2年度実績	窓口相談：49件、無料弁護士相談：8件、移動弁護士相談会：4回開催
-------	-----------------------------------

6 情報化支援 7,391千円

各種支援事業や企業経営に役立つ情報等の提供を行うとともに、専門家等の派遣により、会員におけるIT化の促進や生産体制の向上を支援します。

・情報支援事業

インターネットやメールマガジン等による情報提供

2年度実績	地元新聞への中小企業経営情報掲載：36回、メールマガジン配信実績：55回
-------	--------------------------------------

・情報会員支援事業

会員企業に対して、経営に有益なIT関連情報誌の提供や、情報化人材育成のためのIT操作技術及び生産性向上を実現するIT導入の促進に係る講師派遣、ホームページ作成費用等助成などを実施
また、高次の生産管理手法を用いて、徹底したコストダウンを實踐できるような生産体制の向上を支援

2年度実績	情報誌「KISC」発行（5、8、11、2月） 情報化人材育成事業（社内パソコン研修）：17社 IT導入促進支援事業（専門家派遣）：7社14回 ホームページ作成等支援事業助成企業：9社 現場「カイゼン」導入支援事業（企業訪問）：106回
-------	---

7 人材育成支援 1,676千円

若手経営者等を対象にした人材育成塾の開催やカイゼンインストラクターによる企業訪問・社内ゼミ等を行うことにより、企業の人材育成を支援します。

・ものづくり鹿児島リーダー塾事業

ものづくり企業の経営力向上等を図るため、若手経営者、後継者等を対象とした人材育成塾を開催

2年度実績	4回開催 県内の先輩経営者による講演及び企業視察
-------	--------------------------



令和2年度 食品関連産業「カイゼン」活動取組優秀社の紹介

当センターでは、平成26年度から県内食品関連産業の生産性向上に係る事業を実施しており、本事業へのこれまでの参加企業約100社の中から特に優秀な成果を挙げた企業5社に対して、今回初めて『カイゼン活動取組優秀社』知事表彰が、令和3年2月5日にマリパレスかごしまで行われました。

今号では、受賞された企業の主な取組・成果についてご紹介します。



株式会社 ビッグファイブ

- 代表者：代表取締役 政田 久子
- 所在地：鹿児島市東開町4-74
- TEL：099-210-2002

- 事業内容：鹿児島市で餃子の製造（OEM含む）・販売を行っている。小売りのみならず、業務用の餃子も製造しているほか、オーダーメイド餃子の受注製造・販売も行っている。



衛生管理改善で清掃時間を1日当たり90分短縮。従業員の多能工化等により出荷量の増加や必要人員の削減が図られるなど、他の模範となる成果を挙げ今後も更なる取組が期待されます。

【カイゼンに取り組んだ結果】

- ・ 難易度の高い食品安全マネジメントシステムの規格取得への意欲が高まった。
- ・ 新しい先端設備導入による廃棄ロスの削減への取組が進んだ。



株式会社 丸俊

- 代表者：代表取締役 横山 恵美
- 所在地：鹿児島市小松原1-46-1
- TEL：099-266-2211

- 事業内容：鹿児島市でかつおを主とした水産加工品の製造及び販売を行っている。県内には3店舗の直営店（小川町店、国分店、始良店）を持つほか、ネット販売にも対応している。



会社全体での5Sの取組により、HACCP認証を取得し、また、IoT導入により生産性が向上し、売上高の増加や残業時間の削減など、他の模範となる成果を挙げ今後も更なる取組が期待されます。

【カイゼンに取り組んだ結果】

- ・ 更なるカイゼンを推進する意欲が高まり、今後、個人毎のスキルアップと教育・訓練や勤務体制の見直しを行うこととしている。



後藤漬物株式会社

- 代表者：代表取締役 後藤 公也
- 所在地：曾於郡大崎町永吉237
- TEL：099-476-3267

- 事業内容：曾於郡大崎町で漬物製品の製造・販売を行っている。主力商品の国産原料を使用した糖絞り大根・べったらに定評がある。小売り専用のものでなく、飲食店へ卸す漬物物の製造も行っている。



作業工程レイアウトの変更及び裁断機、スライス機の導入により人件費を年間720万円（17%）削減し、廃棄ロスを年間310万円削減するなど、他の模範となる成果を挙げ、今後も更なる取組が期待されます。

【カイゼンに取り組んだ結果】

- ・更なるカイゼンへの意欲が高まった。
- ・販路拡大の取組をより一層強化させることが可能となった。



株式会社 エヌチキン

- 代表者：代表取締役 徳満 義弘
- 所在地：南九州市知覧町郡3669
- TEL：0993-83-3725

- 事業内容：南九州市で食肉加工品の製造を行っている。製造加工のみを行っている企業であり、販売はグループ会社である「南薩食鳥株式会社」が担っている。



各工程の業務プロセスやレイアウトの見直し、作業効率改善のための機械導入に取り組み、生産性が1.5倍に上昇。人件費コスト低減、歩留まり改善が実現するなど、カイゼン活動に優秀な成果を挙げました。

【カイゼンに取り組んだ結果】

- ・設備投資ができるようになり、従業員への賞与還元が可能になった。
- ・他部署との連携がとれるようになった。



水溜食品株式会社

- 代表者：代表取締役 水溜 政典
- 所在地：南さつま市金峰町宮崎2940
- TEL：0993-77-0108

- 事業内容：南さつま市で漬物製造卸売業を行っている。多様な漬物商品のほかに、オリジナル商品の開発にも取り組んでいる。



作業場レイアウトの見直し、多能工化、生産計画の立案・運用等に取り組み、年間約960万円の人件費を削減、生産コストの3割削減、出荷量も2割増加するなど、カイゼン活動に優秀な成果を挙げました。

【カイゼンに取り組んだ結果】

- ・従業員への賞与還元、設備投資や職場環境改善につながった。
- ・更なるカイゼンへの意欲が高まった。

会員企業PRコーナー【情報会員限定】

事業案内、商品案内、新製品紹介等
会員企業の営業活動を支援します！

株式会社 ナンクフクトリー

設立55周年、小回りの利く地域に根差した豚肉加工品のプロフェッショナル

◆契約養豚農家から直接仕入れを行い、衛生管理の行き届いた工場で、カット処理・販売、また、1次加工品・加熱加工品の製造・販売にも力を入れている会社です。加熱加工品については、自社での製品開発だけではなく、ご提案いただいたものを製品化することにも取り組んでおります。販売先は、県内はもとより、関東、関西方面までお取引させていただいております。

本年4月に社名を変更いたしました。

心機一転、更に邁進して参ります。



鹿児島市七ツ島1-2-11

TEL 099-261-2944

FAX 099-262-0492

資本金 8,000万円

従業員数 65名

◆事業内容

契約農家から仕入れた豚肉の加工・販売
1次加工品・加熱処理加工品の製造販売
食肉処理業・食肉製品製造業・そうざい業

【1998年7月会員加入】

キリシマ精工株式会社

<http://kirishima-seiko.jp/>

MADE IN 霧島 (キリシマ)！カーブカット工法で金属加工に挑戦する企業

◆キリシマ精工は、霧島市にある超精密金属切削加工メーカーです。独自開発した金属切削加工方法『カーブカット工法』で多業種のお客様より評価を頂いております。最近では、舌側矯正の歯列矯正器具を、矯正歯科医と共同開発に成功し販売をスタートすることができました。従来品より丸みを持たせ、患者様の舌感を向上させ矯正ワイヤーが入る溝を歯列に沿った形状にすることで歯を効率よく動かす機構にしております。

2021年3月には、この歯列矯正器具が『第12回かごしま産業技術賞・大賞』を頂きました。今後も地元へ貢献できるよう取り組んで参ります！



霧島市国分川原918-7

TEL 0995-73-4311

資本金 1,000万円

従業員数 51名

◆事業内容

マシニングセンタ加工を中心とし、切削での精密微細加工及び各種装置部品等を製造
国内特許2件、韓国特許1件保有

【2007年5月会員加入】

南国システムサービス株式会社

<https://www.nss-nangoku-group.com/>

建設業向け遠隔臨場システム「Atlas Remote」 業務効率化を支援して下さい！

◆遠隔臨場は、2020年3月2日に国土交通省が公表した資料「建設現場の遠隔臨場に関する試行要領(案)」に基づき段階・材料確認等の立会検査を、ウェアラブルカメラ等を活用することで発注者が現地へ赴くことなく実施することができる新たな取り組みです。

「情報共有」「指示機能」「画面共有機能」などを兼ね備え、「業務効率化」「三密対策」「経費削減」の効果が期待できます。

是非、お問い合わせください。



鹿児島市鴨池新町6番6号

TEL 099-255-2220

FAX 099-255-0972

資本金 5,000万円

従業員数 52名

◆事業内容

南国産産のグループ会社として多業種への情報システムの提案や整備・構築を行い、福岡・広島へ事業展開

【2007年6月会員加入】

掲載企業募集中！ センター『情報会員限定』、掲載料無料です。お申込みは下記まで

【申込み・問い合わせ先】 (公財) かごしま産業支援センター 総務情報課

TEL : 099-219-1275 FAX : 099-219-1279 E-mail : info@kisc.or.jp

ジャパンポーレックス株式会社

<http://www.porex.co.jp/>

ポーレックス お茶ミル・II 挽きたて茶葉でおいしくヘルシーな毎日

◆「その時点で世の中に存在しないものをつくる」をコンセプトにもつくりをしています。自社で開発した技術を駆使し、コーヒー豆・茶葉・塩・スパイス・ごま等を挽くセラミック製刃の手挽きミル類や、セラミック製おろし・しょうゆ差し製品等を霧島市にある自社工場で製造し、完成品として出荷しています。ポーレックス お茶ミル・IIは、研究開発の結果、約18ミクロン*まで茶葉を大変細かく挽くことができるミルです(30ミクロンを下回るとざらつかず喉ごしが良いと一般的に言われています)。

お茶として飲むほか、牛乳と混ぜて抹茶ラテ風、塩と混ぜて抹茶塩風等お料理やスイーツにも楽しむことができます。特許出願中。

※平均粒子径18 μ m / トルク16N・m



ポーレックス
お茶ミル・II



お塩と混ぜて抹茶塩風に



フレッシュ感たっぷりの
アイスグリーンディー



バニラアイスに混ぜたり
上からかけて抹茶アイス風に

霧島市横川町上ノ1800
TEL 0995-72-0309
FAX 0995-72-1434
資本金 1,600万円
従業員数 32名

◆事業内容
セラミック製品(手挽きミル、おろし器、しょうゆ差し等)及び密封容器用蓋の製造・販売

【2016年4月会員加入】

株式会社下園薩男商店

<https://www.marusatsu.jp/>

企業理念：今ある「コト」に一手間加え、それを誇り楽しみ人生を豊かにする。

◆1939年創業の水産加工業者

ウルメイワシ丸干しを中心に、日本全国の量販店に販売。また、企業理念をもとに地元産品に一手間加えた商品の製造販売に力を入れています。

食肉製品製造業や清涼飲料水製造業の営業許可も取得し、ジビエを使ったソーセージや、地元の柑橘を使ったクラフトコーラ等、今後様々な商品の製造・販売を行ってまいります。

商品開発のコンサルティング等も承っております。



薩摩川内市湯田町1013-1
TEL 0996-28-0200
(本社事務所)
阿久根市大川54番地
資本金 1,000万円
従業員数 78名

◆事業内容
ウルメイワシ丸干しを主とした水産加工業。
1F ショップ・カフェ
2F 工場、3F 簡易宿泊施設イワシビルの運営。

【2019年7月会員加入】

上園食品株式会社

<https://uezonoshokuhin.co.jp/>

馬のマークの麦みそ漬

◆鹿児島県産の大根と高菜を中心に、国産原料にこだわり、美味しいお漬物をお届けします。

契約栽培で仕入れた大根と高菜のお漬物を作りながら、「これを漬物にしてほしい！」というご要望にもお応えしています。

隼人瓜、二十日大根、アスパラ、ヤーコン、人参等、商品化しております。ご相談ください。



霧島市隼人町真孝字松山
3344番地1
TEL 0995-42-6969
FAX 0995-43-1160
資本金 1,000万円
従業員数 60名

◆事業内容
漬物製造・卸・販売
原料自社栽培(鹿屋市)

【2020年7月会員加入】



自営業・会社の社長さん、創業を目指すあなたへ

各分野で活躍中の専門家チームが

無料で**何度でも**

アドバイス、支援いたします！



<よろず支援拠点> は国（中小企業庁）が個人事業主・中小企業・創業希望の方へ向けた経営支援体制強化のため、全国に設置した無料相談所です。

昨年度は約1万件の相談がありました。新たな取り組みや県内の支援機関との連携により更にパワーアップした「鹿児島よろず」にぜひ一度ご相談ください！

新コーディネーター紹介

5月から2名のコーディネーターが加わりました！



コーディネーター
青山 怜史

WEBでの集客や店舗売り上げアップで成果がでなくて困っている方！

前職で健康食品・化粧品・食品などを取り扱うEC専門会社にて食品・コスメの店舗運営責任者として業務に従事。SNSやWEB広告を活用し、集客率を上げ、売れるホームページ作りの支援を行います。



コーディネーター
中山 貢

経営上の悩みや経営課題の解決に向けた改善策をアドバイスします！

県下商工会地区で小規模事業者、中小企業者の経営支援業務（金融・税務・経営革新・新規創業・各種補助金の申請等）に従事。事業者が抱える経営課題の解決に向けた支援を行います。

- ◎売上・販路拡大 ◎資金繰り ◎補助金・助成金 ◎SNS・IT
◎デザイン ◎ものづくり ◎店舗改善 ◎ブランディング など…

総勢19名のコーディネーターが、お客様に寄り添ったアドバイスや支援を行います！！



※2020年11月満足度調査

<県内各地のサテライトを利用したご相談やセミナーも開催中>

大 隅よろず相談窓口：毎週第2・3・4火／1・3金曜日	鹿屋市産業支援センター (0994-40-7890)
北 薩よろず相談窓口：毎月第2・4金曜日	川内商工会議所 (0996-22-2267)
指 宿よろず相談窓口：毎月第4木曜日	指宿商工会議所 (0993-22-2473)
奄美大島よろず相談窓口：毎月1～2回	奄美大島商工会議所 (0997-52-6111)

●ご予約・お問い合わせは

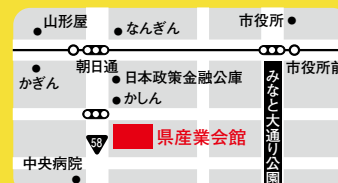
TEL.099・219・3740

✉ yorozu@kisc.or.jp

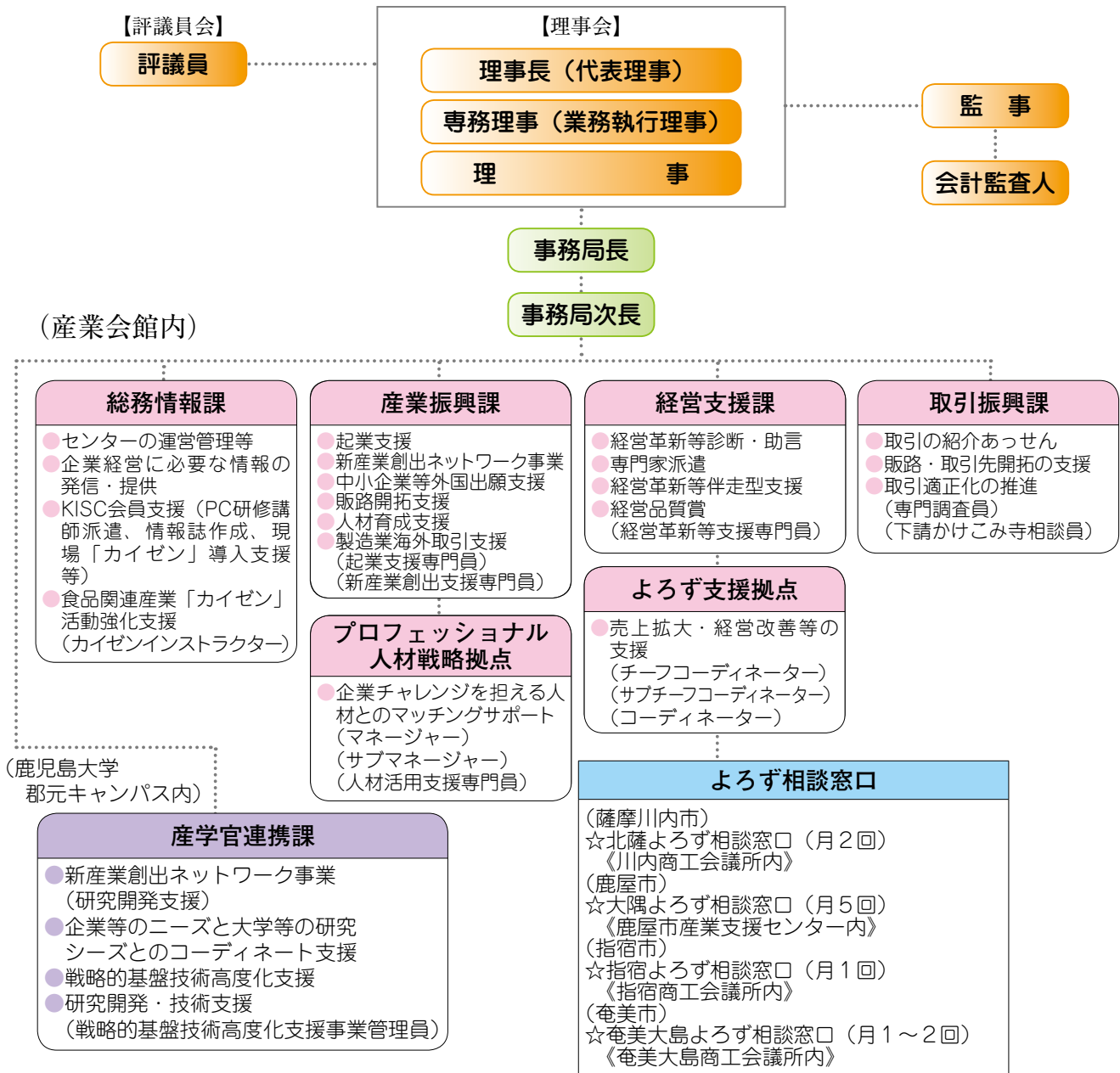
https://yorozu-kagoshima.jp/

公益財団法人 Kagoshima Industry Support Center
かごしま産業支援センター

鹿児島県よろず支援拠点



(公財) かがしま産業支援センター組織・機構



INFORMATION TEL・FAX・メールアドレス

課名	TEL	FAX	メールアドレス
総務情報課 " (情報)	099-219-1271 099-219-1275	099-219-1279	setubi@kisc.or.jp info@kisc.or.jp
産業振興課	099-219-1272		ikusei@kisc.or.jp
経営支援課	099-219-1273		keiei@kisc.or.jp
取引振興課	099-219-1274		torihiki@kisc.or.jp
産学官連携課	099-214-4770	099-214-4771	sangaku@kisc.or.jp
よろず支援拠点	099-219-3740	099-223-7117	yorozu@kisc.or.jp
北薩よろず相談窓口 (川内商工会議所内)	(注) 相談予約はよろず支援拠点に御連絡ください。 TEL : 099-219-3740 FAX : 099-223-7117		(住所) 薩摩川内市神田町3-25
大隅よろず相談窓口 (鹿屋市産業支援センター内)			(住所) 鹿屋市北田町3番3-23号
指宿よろず相談窓口 (指宿商工会議所内)			(住所) 指宿市大牟礼1-15-13
奄美大島よろず相談窓口 (奄美大島商工会議所内)			(住所) 奄美市名瀬入船町12-16
プロフェッショナル 人材戦略拠点			099-219-9277

《ご利用ください》

公益財団法人 産業雇用安定センター

人と企業を結ぶ出向・移籍等の

送出国企業

お手伝いをしています

受入企業



- 人材育成や雇用調整などで「人材の送り出し」をされる時 ※離職前にご相談ください
- 事業の再構築を検討される時
- 定年退職予定の方が他企業への再就職を希望する時

- 事業の拡大や創業、増員・欠員補充など「人材の募集」をされる時、ご要望の人材を紹介します
- 雇用関係助成金の取り扱いもあります

- 47都道府県事務所の全国ネット・ハローワークなど他の機関との併用が可能です。マンツーマンで在職中から再就職までのお手伝いをします。(ご利用は無料です)
- 原則離職後6カ月以内での委託訓練や、各講習等の支援も行っています。
- 経験豊富な講師が、各種セミナー(有料)も行います。
- 系列・グループを超えた出向を通して雇用調整・キャリアアップ・人材育成・他社交流等のお手伝いをいたします。

お気軽にお問い合わせ・ご相談ください



公益財団法人
産業雇用安定センター
鹿児島事務所

〒890-0053 鹿児島市中央町26-18 南日本中央ビル4階
電話 099-812-9551 FAX 099-258-9101
<http://www.sangyokoyo.or.jp/>



ISO 審査

教育・研修

【品質】 【環境】 【安全】

ISO 審査

- ・標準文書無料提供
- ・内部監査員無料研修
- ・県内審査員で交通費ほぼ0

コロナを乗り越え、頑張りましょう!!

ISO 審査代理店

南日本審査株式会社

〒899-5431 鹿児島県始良市西餅田 3344-2
TEL: 0995-64-5727 FAX: 0995-64-5078
URL: <http://www.minami-sinsa.com> お気軽にご相談ください



公益財団法人 Kagoshima Industry Support Center

かごしま産業支援センター

〒892-0821

鹿児島市名山町9番1号(県産業会館2F)

TEL (099) 219-1270

FAX (099) 219-1279

E-mail: kisc@kisc.or.jp <https://www.kisc.or.jp>